

水戸部 七絵 Nanae Mitobe



画家

神奈川県生まれ

2011年名古屋造形大学卒業

2019年 ホルベイン・スカラシップ奨学生

2016年-現在 阿佐ヶ谷美術専門学校非常勤講師

2021年 東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻油画 在籍

現在、千葉のスタジオを拠点に作家活動を行っている。2021年から東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻油画（油画第一研究室）在籍、画家 小林正人を師事する。以前から描く対象として象徴的な人物の存在を描いたが、2014年のアメリカでの滞在制作をきっかけに「DEPTH」シリーズを発表。2016年の愛知県美術館での個展を開催し、2020年に愛知県美術館に「I am a yellow」が収蔵される。近年は、寺田倉庫に新設されたコレクターズミュージアム「WHAT」に高橋コレクションから出展、2020年「VOCA展2021」で鎮西芳美氏（東京都現代美術館）に推薦され、VOCA 奨励賞を受賞した。また2021年、NADiff a/p/a/r/tの個展、2022年には、オペラシティProject Nでの個展等を開催予定である。

主な個展に、2019年「I am yellow」（Maki Fine Arts）、2018年「DEPTH - Tranquil Pigment-」（florist gallery N）、2016年「APMoA, ARCH vol.18 DEPTH - Dynamite Pigment -」（愛知県美術館）、「水戸部七絵展」（gallery21yo-j）、2014年「ABRAHAM」（LOOP HOLE）など。

主なグループ展に、2021年「VOCA展2021」（上野の森美術館）2020年「-Inside the Collector's Vault, vol.1-解き放たれたコレクション展」（WHAT）、2020年度第3期コレクション展「私は生まれなおしているー令和2年度新収蔵作品を中心にー」愛知県美術館、「HCN」Tokyo International Gallery、「ホルベイン・スカラシップ成果展」佐藤美術館、2019年「水戸部七絵 | 高山陽介 顔の奥行き」（関内文庫）、「高橋コレクション展 アートのふるさと」（鶴岡アートフォーラム）、2018年「高橋コレクション 顔と抽象ー清春白樺美術館コレクションとともに」（清春白樺美術館）、2017年「アブラカダブラ絵画展」（市原湖畔美術館）、「千一億光年トンネル」（ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション）、2014年「りこうなハンス」（タリオンギャラリー）などに参加。

その他に、鎮西芳美氏 推薦「VOCA展 2021」奨励賞受賞(2021年)、山峰潤也監修 テレビ朝日「アルスクんとテクネちゃん」出演(2021年)、「NHK 日曜美術館アートシーン」出演(2017年)、梅津庸一氏、O jun氏 推薦「美術手帖 2016年12月号あなたの知らないニューカマー・アーティスト100」掲載(2016年)など。

パブリックコレクション

愛知県美術館

高橋コレクション